

授業科目名	【Gカリキュラム】 民法(総則) I 【EFカリキュラム】 民法総則 I	その他参照	開講年次	【G】 1 【EF】 1	単位数	【G】 2 【EF】 2
科目区分	専門科目：【G】 教科及び教科の指導法に関する科目 (- - - - -) / 【EF】 教科及び教科の指導法に関する科目 (- - - - -)					
担当形態	単独	【G】 教員の免許状取得のための (- - - - -) 科目 【EF】 教員の免許状取得のための (- - - - -) 科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	民法の基礎を学ぶ (その1)	担当者	勝田 信篤			
授業概要	<p>【概要】 民法総則の前半について、具体的な例をあげて解説する。民法総則の後半については、来年度の履修となる。みなさんのまわりの身近な問題が法律上でどのように扱われるのか。そしてそれは、みなさんの常識や価値観とどこが同じでどこが違うのか。そういう意識をもって講義を受けてほしい。講義は板書および口頭での解説による。基本的なことは必ず板書するので、まずこれを理解することを第一に考えてほしい。なお、授業中の私語、携帯電話等の使用を禁ずる。</p> <p>【到達目標】 学習した内容を現実の事案にあてはめて、妥当な解決方法を導けるようになる。これは、評価基準に記載した「応用力」にあたる。</p>					
履修条件	特になし					
教科書・参考書	<p>【教科書】 平野裕之『民法I 民法総則 第二版』新世社、2,484 円 六法 (どの出版社のものでもよい。ただし、平成 31 年版。授業の際には必ず持参すること)</p> <p>【参考書】 鎌野邦樹『今日から役立つ民法』ナツメ社、1,512 円</p>					
授業回数	授業内容					
1	ガイダンス、公共の福祉 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
2	信義則、権利の濫用 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
3	権利の濫用、公序良俗 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
4	公序良俗と不法原因給付 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
5	権利能力 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
6	失踪宣告、無効と取消 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
7	意思能力、行為能力、未成年の法律行為 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
8	無能力者制度 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
9	制限行為能力者制度①任意後見 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
10	制限行為能力者制度②法定後見 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
11	法人 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
12	権利能力なき社团 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
13	心裡留保 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
14	虚偽表示 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
15	まとめ 予習：教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録。(60分程度)	復習：本ページ末【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
評価方法	授業内に行なう理解度確認テストを特に重視する(90%以上)が、出席、授業への参加度等(10%以下)も加えて、総合的に評価する。 なお、出席の悪い者にはマイナス評価とする。					
評価基準	S：授業内容を理解しており、秀でた応用力がある、A：授業内容を理解しており、応用力もある、B：授業内容を理解している、C：最低限の基礎力を備えている、D：基礎力が不足している、E：基礎力が著しく不足している、F：確認テストを受けていない、出席がない場合評価不能とする。					
その他	<p>【自宅での学習例】ノートを見ながら、その日の授業内容を再現してみる。疑問点が生じたら、まず教科書、参考書等で調べ、それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。</p> <p>※G 別：法【選択必修 (D)】 別【選択必修 (D)】 情【選択必修 (D)】 / EF 別：法【-】 別【-】 経【選択必修 (β)】</p>					